

## 平成27年第1回辰野町議会臨時会会議録

1. 招集告示年月日 平成27年1月9日
2. 開会場所 辰野町議事堂
3. 開会年月日 平成27年1月16日 午後3時00分
4. 議員総数 14名
5. 出席議員数 14名

1番	宇治徳庚	2番	成瀬恵津子
3番	根橋俊夫	4番	三堀善業
5番	岩田清	6番	矢ヶ崎紀男
7番	熊谷久司	8番	永原良子
9番	堀内武男	10番	船木善司
11番	中谷道文	12番	垣内彰
13番	宮下敏夫	14番	篠平良平

### 6. 会議事項

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号 平成26年度辰野町一般会計補正予算（第8号）

日程第4 議員提出議案の審議について

発議第1号 国道153号線整備改良を求める意見書の提出について

### 7. 地方自治法第121条により出席した者

町長	加島範久	副町長	武居保男
教育長	宮沢和徳	総務課長	中村良治
まちづくり政策課長	山田勝己	産業振興課長	飯澤誠
建設水道課長	漆戸芳樹	住民税務課長	向山光
保健福祉課長	一ノ瀬元広	水道課長	小野耕一
会計管理者	宮原修二	教育次長	百瀬辰夫
辰野病院事務長	赤羽博	消防署長	林国久
社会福祉協議会事務長	守屋英彦	両小野国保診療所事務長	河手潤子

8. 地方自治法第 123 条第 1 項の規定による書記

議会事務局長 武 井 庄 治  
議会事務局庶務係長 菅 沼 由 紀

9. 地方自治法第 123 条第 2 項の規定による署名議員

議席 第12番 垣 内 彰  
議席 第13番 宮 下 敏 夫

10. 会議の顛末

○局 長

ご起立願います。（一同起立）礼。（一同礼）

○議 長

改めまして、新年あけましておめでとうございます。平成27年の新春を迎え謹んで新年のお慶びを申し上げます。新年第1回臨時議会をお願いしたところ、全員の皆さんの出席をいただきました。昨年は災害の多い年でありました。長野県内の身近な所で発生した災害を目の当たりにして、各種の災害に対する備えには万全を期さなければならぬと身が引き締まる思いでありました。今年こそは災害のない年であることを願うものであります。さて、本年も厳しい経済状況が予想されますが、町政をゆるぎないものにしていきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。定足数に達しておりますので、これより平成27年第1回（1月）辰野町議会臨時会を開会いたします。直ちに本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。第1回臨時会招集にあたり、町長より挨拶を受けます。

○町 長

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。議員各位をはじめ町民の皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。先ほども議長さんからお話もございましたけれども、昨年は県内外において大雪や大雨、噴火や地震などによる災害が発生し多くの尊い命を失われた1年でもありました。明日は阪神淡路大震災から20年を迎える日であります。東日本大震災、長野県北部地震、神城断層地震など度重なる震災。長野県は地震について心配される地域の1つでもあるわけでありまして。糸魚川静岡構造線が大地震を起こす可能性が指摘をされております。また、関東や東海地方で近い将来に大地震が予想されるなど、災害と防災に関心を寄せて一人ひとりができる限り準備をしてこの1年が災害のない明

るい年となるように願うところであります。国においては人口 9,000 超高齢化というわが国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み各地域がそれぞれの特徴を生かした自立的で持続可能な社会を創生できるよう、まちひとしごと創生本部を設置し、総合戦略を取りまとめ閣議決定いたしました。町においても辰野版の総合戦略を策定し、元気なまちづくりを進めてまいり所存でございます。県においては13日から17日までの予定でしあわせ信州移動知事室が設置され、上伊那地域経済関係団体、助産師会、青年農業者などとの対話。ものづくり企業訪問などが実施され、昨日は上伊那の市町村長との意見交換が行われたところであります。町では昨年7月から17地区で開催した辰野よりあい会議、延べ1,519人の方々のご参加をいただきました。地域の魅力や問題、今後の課題や活性化のアイデアなど、多くのご意見をいただきましたので、年度内に各地区ごとにまとめたかわら版を配布し、集約したものを地区ごとの地域計画として辰野町第五次総合計画後期基本計画に取り入れていくよう作業を進めているところであります。庁舎耐震化工事、あさひ世代間交流施設など建物の工事も年度末の完成を目指して工事中であります。移住定住促進による交流施策、空き家対策、少子高齢化や人口減少対策、道路整備などを盛り込んだ予算となるよう現在、査定を行っているところであります。昨年にも増して厳しい予算が想定されますが、誰もが心豊かに安心安全に暮らせるまちづくりを目指して、住んでみたい、住み続けたい、帰ってきたい町に近づけるよう努めてまいりたいと思います。また、4月には旧辰野町と朝日村が合併して新制辰野町が誕生して60年。人間で言えば還暦となる節目を迎えます。ほたる祭りの開幕日でもあります6月13日には60周年の記念式典とニュージーランドワイトモ行政区からの訪問団も招き、姉妹都市提携20周年の式典を開催し、式典を盛り上げるほか各種事業に60周年を冠し、年間通じて節目を盛り上げてまいりますので、議員各位におかれましてもご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。さて、今臨時会に提案する議案は平成26年度一般会計補正予算（第8号）の1件であります。提案時ご説明申し上げますので、原案可決くださいますようお願い申し上げます、第1回臨時会招集にあたってのご挨拶とさせていただきます。

#### ○議 長

これより日程に基づく会議に入ります。日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は会議規則第122条の規定により、議席12番、垣内彰議員、議席13番、宮下敏夫議員を指名いたします。日程第2、会期の決定の件を議題といたします。お諮

りいたします。本臨時会の付議事件は、あらかじめ告知のとおりでありますので会期を本日、一日としたいと思いますがこれにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議長

異議なしと認めます。よって会期は本日、一日と決定いたしました。日程第3、議案第1号、平成26年度辰野町一般会計補正予算(第8号)についてを議題といたします。提案者より提案理由の説明を求めます。

○町長

平成26年度辰野町一般会計補正予算(第8号)を提案するにあたりまして提案理由を申し上げます。今回の補正予算は、社会資本整備総合交付金事業の不用減額と、補助金確定に伴う財源組み換え、町民体育館屋根改修工事の補正予算が主なものであります。この補正総額は3,233万5,000円の減額であり、予算総額は89億1,893万3,000円となりました。その概要を申し上げますと歳入につきましては、分担金、県支出金、町債の増額、国庫支出金、繰入金の減額であります。歳出につきましては、総務費では国勢調査補助金の増額に伴う事務費の増額であります。民生費ではボランティアセンター及び老人福祉センターの修繕費の増額であります。農林水産業費では、農業基盤整備促進事業の測量委託料の増額であります。土木費では社会資本整備総合交付金事業の不用減額及び補助金確定に伴う財源組み換えと、道路台帳整備費用及び登記費用等の増額であります。教育費では町民体育館屋根改修工事等の増額であります。以上のとおり、補正予算の概要を申し上げましたが、ご審議の上、可決くださいますようお願い申し上げます。以上であります。

○議長

これより質疑、討論を行います。ありませんか。

○堀内(9番)

2ページをご確認ください。歳入において国庫補助金が約2,200万円の減額、基金繰入金が約3,570万円の減額として、それに対応してですね町債が2,340万円、これは社会資本整備総合交付金事業として増額し、トータル的には3,232万5,000円の減額補正という形の状況になっていると思います。16ページの歳出のところをご確認ください。16ページの所にですね土木費の関係で道路新設改良工事の中で委託料、工事請負費、公有財産購入費等約4,090万円が減額となっておりますが、その中で一般財源を減らして

その代わりに地方債を発行して対応しているという形で判断いたします。ここで伺いますけれども不用減額となった工事内容は何であるのか、詳細にちょっとお答え願いたいのと、事業減額の中で一般財源を減額してその分、地方債を発行しているという形の状況になっておりますので、その目的とするものは何か、それについてお尋ねをいたします。

○建設課長

それでは15ページの社会資本整備総合交付金事業の13、15、17の不用減額についてご説明させていただきます。13委託料の不用減額でございますが、町道12号線、東西線の物件調査でございます。これにつきまして用地測量等の遅れが生じた結果、物件調査に入れなくなり次年度に延伸をするものでございます。15の工事請負費でございますが、町道1012号線新屋敷線の工事につきまして補助金が付かず次年度に延伸をするものでございます。17の公有財産購入費につきましては町道63号線上辰野仲道線の私有地の一部につきまして次年度に延伸するものでございます。なお、ほかの新屋敷線、東西線、法性神社線等につきましては用地購入につにつきまして、すみません。東西線を抜きまして購入費につきましては全部完了しているところでございます。一部やはり一番最初に申し上げなければいけなかったですが、補助金が1億2,450万円の要望を行い、予算化されましたが国からの予算が約67%しか採択ならない見込みという形の中において事業費を減額するものであります。以上でございます。

○まちづくり政策課長

それでは私からは財源内訳についてご説明を申し上げます。今、建設課長が申しましたとおりに事業費について本年度分の確定によりまして減額の補正となっております。この社会資本整備総合交付金事業につきましては補助対象事業分につきまして55%の国庫補助金が付くようになっております。8ページをご覧いただきたいと思いますが、先ほど言いましたように事業費自体が減額いたしますので、国庫補助金もその分2,249万5,000円減額をさせていただくものであります。ただ、当初予算ではこの事業費に対しまして55%の国庫補助金を見込んで残額、いわゆる国庫補助の残、補助残と言われていたものなのですが、これについては全て一般財源を当て込んで支払う予定でございました。ちなみに5,911万2,000円なのですが、今回の補正についてはこの補助残の一部を起債、公共事業等債ですね、これに振り替えて一般財源から起債に財源組替をするものであります。11ページをご覧いただきたいと思いますが、この振り替えがこの起債でありまし

て、公共事業等債 2,340 万円を補正し、これに充当いたします。この起債の充当率につきましては90%で交付税の措置は20%ございます。また、本事業の内容につきましては先ほど建設課長が申しましたとおりに道路整備事業であります。将来、便益を受けることとなる後の世代の住民と現世代の住民が負担を分かすべき住民負担の世代間の公平のための調整を図り起債に振り返るものであります。また、起債に振り返った一般財源と事業費の減額による一般財源の減額分については、財政調整基金からの繰入金を減額いたしまして、基金を少しでも残し今後の支出に対応をしていきたいと思っております。ちなみに財政調整基金からの繰入金につきましては10ページをご覧いただきたいと思っておりますが、今回 3,573 万 4,000 円減額補正をさせていただいておりますが、当初の予算では 6 億 6,100 万円の取り崩しをしてこの一般会計へ繰り入れる予定でありましたけど、12月の補正と合わせまして、と今回の 8 号の補正と合わせまして 5 億 7,862 万 3,000 円まで減額の方をさせていただいているわけであります。以上であります。

○堀内（9 番）

ただ今のような説明、よく分かりました。その中でですね、ただ今一般財源を減らしてその分を後世にもわたってっていう話の中で、起債を行っていくという形の状況だと思っておりますので、その分、逆に現状の中での事業が遂行できると。一般財源の中でですね、という話だと思っておりますが今後、今おっしゃったようにやっぱり拡大するっていう考え方はどうなんでしょうか。

○まちづくり政策課長

現在、平成27年度の予算査定の方を行っております。やはり今、支出の方がかなり増加しておりますので、それに不足するものについては一般財源に頼らなければいけない状況です。ということは基金からの取り崩しもかなり額が増えてきているというのが現状でありまして、一気にここで一般財源としての基金を全て使っちゃうんじゃなくて、もし後世に負担を残せるものがありましたら起債に振り替えて後世にわたって世代間の負担の公平性も図りながらやっていきたいかなと今、考えているところであります。

○議 長

よろしいですか。

○堀内（9 番）

はい。

○議長

ほかにございますか。

(なし)

○議長

質疑、討論を終結いたします。これより議案第1号、平成26年度辰野町一般会計補正予算(第8号)を採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議長

異議なしと認めます。よって議案第1号は原案のとおり可決されました。日程第4、議員提出議案の審議についてを議題といたします。発議第1号、国道153号線整備改良を求める意見書の提出についてを議題といたします。議案の朗読をいたさせます。

○議会事務局長

(発議第1号 朗読)

○議長

ここで提出者であります宮下敏夫議員より趣旨説明を求めます。

○宮下(13番)

活性化特別委員会提案「国道153号線整備改良を求める意見書」について提案理由を申し上げます。これは、辰野町議会会議規則第13条3項の規定により提出するものがあります。国道153号線は、三州街道と呼ばれ伊那谷を南北に縦貫し、中京圏と県中央部の塩尻市を結ぶ幹線道路であります。また、今後予想される南海トラフを震源とする巨大地震。近年の豪雪・豪雨などの災害時における緊急輸送路として、また12年後に開業が予定されているリニア中央新幹線長野県内駅へ直結する最も重要なアクセス道路として期待されており、産業、観光、文化など広域的な交流と地域の発展に寄与する大変重要な路線であります。しかし、辰野地域における道路状況については、従前より伊那方面から延伸する5本の接続道路が、いずれも町内に入り国道153号線に集約されてボトルネック状態となり、慢性的な交通渋滞に陥っております。こうした状況下、当町では道路整備や改良の遅れが指摘され、道路整備は町政の重要な課題であり国道153号線整備促進協議会において整備改良とバイパス計画について方針が示されました。議会は、活性化特別委員会の中で道路問題検討部会を立ち上げ、国道153号線整備促進とバイパ

ス計画の基本方針を定め道路状況調査や意見交換会を実施し、改めて実現に向けての意志を確認し、辰野町議会として県に対し国道 153 号線整備改良とバイパス道路の早期事業化を強く要望するものであります。全議員のご賛同をお願いし提案理由の説明を終わります。

○議 長

これより質疑、討論を行います。

(質疑、討論 なし)

○議 長

質疑、討論を終結いたします。これより発議第 1 号、国道 153 号線整備改良を求める意見書の提出についてを採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって発議第 1 号、国道 153 号線整備改良を求める意見書の提出については原案のとおり可決されました。以上で本臨時会に付議された事件は全部終了いたしました。よって平成27年第 1 回（1 月）辰野町議会臨時会を閉会といたします。大変ご苦勞様でございました。

1 1 . 閉会の時期

1 月 16 日 午後 3 時 26 分 閉会

この議事録は、議会事務局長 武井庄治、庶務係長 菅沼由紀の記録したものであって内容が正確であることを認め、ここに署名する。

平成 年 月 日

辰野町議会議長

署名議員 13 番

署名議員 1 番